

2025年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月14日

上場取引所 東

上場会社名 日精エー・エス・ビー機械株式会社

コード番号 6284 URL <https://www.nisseiasb.co.jp>

代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）藤原 誠

問合せ先責任者（役職名）取締役管理本部長（氏名）山本 雄一 TEL 0267-23-1560

半期報告書提出予定日 2025年5月15日 配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年9月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年10月1日～2025年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期中間期	21,902	31.6	5,476	59.6	5,745	65.4	4,008	54.0
2024年9月期中間期	16,648	7.2	3,432	6.0	3,473	63.7	2,603	73.5

（注）包括利益 2025年9月期中間期 4,764百万円（55.8%） 2024年9月期中間期 3,058百万円（－%）

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期中間期	267.42	—
2024年9月期中間期	173.64	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期中間期	76,322	55,364	72.5
2024年9月期	72,761	52,848	72.6

（参考）自己資本 2025年9月期中間期 55,310百万円 2024年9月期 52,802百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	150.00	150.00
2025年9月期	—	0.00			
2025年9月期（予想）			—	160.00	160.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,000	11.5	9,000	13.8	9,100	13.6	6,350	9.9	423.58

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年9月期中間期	15,348,720株	2024年9月期	15,348,720株
② 期末自己株式数	2025年9月期中間期	357,576株	2024年9月期	357,576株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年9月期中間期	14,991,144株	2024年9月期中間期	14,991,286株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本書に記載した業績予想数値等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、様々な要因により異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社は、2025年5月27日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算補足説明資料については、決算説明会までに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
(中間連結損益計算書)	7
(中間連結包括利益計算書)	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10
3. 補足情報	11
受注及び販売の実績	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間(2024年10月1日～2025年3月31日、以下当中間期)の世界経済は、インフレ減速を背景に景気は底堅く推移したものの、欧州や中東における地政学リスクの長期化や米国トランプ政権の不透明な政策動向を受け、先行きに対する不安が一段と高まりました。

一方で、当社グループの属するストレッチブロー成形機業界におきましては、安全で衛生的なプラスチック容器の需要は底堅いものがあり、事業活動は今後も堅調に推移すると思われまます。

こうした環境下、当社グループは「人と社会に豊かさを提供する」「高い技術、サービスで恒久的な存続を追求する」との経営理念に基づき、中長期的な成長発展方針を継続し、事業規模の拡大を見据えた各種戦略的施策の展開に注力しました。

この結果、当中間期の受注成績につきましては、旺盛なプラスチック容器需要を背景に全製品で受注を伸ばした結果、受注高は22,906百万円(前年同期比111.2%)、受注残高は19,247百万円(前年同期末比105.0%)と、それぞれ中間期として過去最高を記録しました。

売上成績につきましても、主力の中小型機に加え、大型機(日本向けPF36シリーズ)の販売を大きく伸ばした結果、売上高は21,902百万円(前年同期比131.6%)と中間期として過去最高となりました。

利益面につきましては、主に増収効果により、売上総利益は10,265百万円(同130.4%)、営業利益は5,476百万円(同159.6%)と大幅増益となりました。その結果、経常利益は5,745百万円(同165.4%)、親会社株主に帰属する中間純利益も4,008百万円(同154.0%)と大幅増益となり、各段階利益で中間期として過去最高を記録しました。

当中間期における損益の状況は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	売上高	売上総利益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する中間純利益
前中間期	16,648	7,869	3,432	3,473	2,603
当中間期	21,902	10,265	5,476	5,745	4,008
前年同期比	131.6%	130.4%	159.6%	165.4%	154.0%

製品別の業績は次のとおりであります。

製品別受注状況

(単位：百万円)

	ストレッチブロー 成形機	金型	付属機器	部品その他	合計
前中間期	11,069	5,634	1,175	2,712	20,592
当中間期	11,268	7,287	1,374	2,976	22,906
前年同期比	101.8%	129.3%	116.9%	109.7%	111.2%

製品別売上高状況

(単位：百万円)

	ストレッチブロー 成形機	金型	付属機器	部品その他	合計
前中間期	7,332	6,067	703	2,545	16,648
当中間期	11,540	6,222	1,287	2,851	21,902
前年同期比	157.4%	102.6%	183.1%	112.0%	131.6%

① ストレッチブロー成形機

大型機の受注は前年同期にあった大口案件(日本向けPF36シリーズ)の剥落により減少したものの、主力の中小型機がインドや欧州を筆頭に堅調に推移した結果、当中間期の受注高は11,268百万円(前年同期比101.8%)と高水準で終わりました。売上高につきましては、堅調な中小型機に加え、大型機(日本向けPF36シリーズ)の出荷を大きく伸ばした結果、11,540百万円(同157.4%)と中間期として過去最高を記録しました。

② 金型

ほぼ全地域で受注を伸ばした中、特にインド、北米及び欧州で好調に推移した結果、当中間期の受注高は7,287百万円(同129.3%)、売上高は6,222百万円(同102.6%)と、それぞれ中間期として過去最高を記録しました。

③ 部品その他

引き続き好調を維持しており、ほぼ全地域で受注を伸ばした結果、当中間期の受注高は2,976百万円(同109.7%)、売上高は2,851百万円(同112.0%)と、それぞれ中間期として過去最高を記録しました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

セグメント(地域)別受注状況

(単位:百万円)

	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	合計
前中間期	6,633	3,724	5,582	4,651	20,592
当中間期	7,167	4,767	7,097	3,875	22,906
前年同期比	108.0%	128.0%	127.1%	83.3%	111.2%

セグメント(地域)別売上高状況

(単位:百万円)

	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	合計
前中間期	5,997	3,329	5,266	2,055	16,648
当中間期	6,957	3,816	6,382	4,745	21,902
前年同期比	116.0%	114.6%	121.2%	230.9%	131.6%

セグメント(地域)別利益

(単位:百万円)

	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	合計
前中間期	976	430	1,354	2,171	4,933
当中間期	1,330	637	2,025	3,049	7,043
前年同期比	136.3%	148.2%	149.5%	140.4%	142.8%

① 米州

米国トランプ政権の不透明な政策動向を受け、中南米市場は小休止となったものの、北米市場は旺盛な購買力を背景に好調に推移しました。その結果、当中間期の受注高は7,167百万円(前年同期比108.0%)、売上高は6,957百万円(同116.0%)と、それぞれ中間期として過去最高を記録しました。セグメント利益も増収効果により1,330百万円(同136.3%)と増益となりました。

② 欧州

経済環境には不透明感が見られるものの、生活必需品に根差した当社製品の需要は強く、ビジネス活動は欧州全域で活発に推移しました。その結果、当中間期の受注高は4,767百万円(同128.0%)、売上高は3,816百万円(同114.6%)と、それぞれ中間期として過去最高を記録しました。セグメント利益も増収効果により637百万円(同148.2%)と増益となりました。

③ 南・西アジア

東南アジア市場は市況回復に時間を要しているものの、インド及び中東市場は好調に推移しました。その結果、当中間期の受注高は7,097百万円（前年同期比127.1%）、売上高は6,382百万円（同121.2%）とそれぞれ中間期として過去最高を記録しました。セグメント利益も増収効果により2,025百万円（同149.5%）と増益となりました。

④ 東アジア

中小型機の受注は堅調に推移したものの、前年同期にあった大口案件（日本向けPF36シリーズ）が剥落したため、当中間期の受注高は3,875百万円（前年同期比83.3%）と減少しました。一方、売上高は前述の大口案件の出荷が順調に進んだ結果、4,745百万円（同230.9%）と中間期として過去最高となり、セグメント利益も増収効果によって3,049百万円（同140.4%）と増益となりました。

（2）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末（以下、当期間末）の流動資産は、前連結会計年度末（以下、前期末）と比べ3,513百万円増加し、58,620百万円となりました。また、固定資産は、前期末と比べ47百万円増加し、17,702百万円となりました。この結果、当期間末の資産合計は、前期末と比べ3,561百万円増加し、76,322百万円となりました。

流動負債は、前期末と比べ1,800百万円増加し、13,662百万円となりました。また、固定負債は、前期末と比べ754百万円減少し、7,295百万円となりました。

純資産は、前期末と比べ2,515百万円増加し、55,364百万円となりました。

（資産、負債及び純資産の状況）

（単位：百万円）

	流動資産	固定資産	流動負債	固定負債	純資産
前期末	55,106	17,654	11,862	8,050	52,848
当期間末	58,620	17,702	13,662	7,295	55,364

（キャッシュ・フローの状況）

当期間末における現金及び現金同等物は、前期末に比べ1,587百万円増加し、30,026百万円となりました。

当中間期における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（単位：百万円）

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 の期末残高
前中間期	3,738	△343	△2,583	24,561
当中間期	4,843	△502	△3,032	30,026

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前中間純利益の計上に加え、契約負債（前受金）の増加等によって資金が増加したため、営業活動によるキャッシュ・フローは4,843百万円の収入（前年同期：3,738百万円の収入）となりました。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

インド工場における設備維持費用等により、投資活動によるキャッシュ・フローは502百万円の支出（前年同期：343百万円の支出）となりました。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

借入金の返済や期末配当金の支払い等により、財務活動によるキャッシュ・フローは3,032百万円の支出（前年同期：2,583百万円の支出）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年9月期の連結業績予想につきましては、2024年11月12日公表の予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,439	30,026
受取手形及び売掛金	7,072	9,193
商品及び製品	2,604	3,151
仕掛品	8,012	7,086
原材料及び貯蔵品	7,561	7,627
その他	1,533	1,641
貸倒引当金	△117	△106
流動資産合計	55,106	58,620
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,113	5,103
機械装置及び運搬具（純額）	5,709	5,391
土地	1,988	1,988
その他（純額）	2,919	3,099
有形固定資産合計	15,730	15,582
無形固定資産	127	170
投資その他の資産		
投資有価証券	449	597
その他	1,442	1,451
貸倒引当金	△95	△100
投資その他の資産合計	1,796	1,949
固定資産合計	17,654	17,702
資産合計	72,761	76,322

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,270	2,152
短期借入金	1,493	1,493
未払法人税等	473	1,088
契約負債	4,889	5,900
賞与引当金	674	622
役員賞与引当金	39	19
その他	2,022	2,385
流動負債合計	11,862	13,662
固定負債		
長期借入金	6,118	5,371
役員退職慰労引当金	565	591
退職給付に係る負債	1,107	1,108
その他	259	224
固定負債合計	8,050	7,295
負債合計	19,912	20,958
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,860	3,860
資本剰余金	3,196	3,196
利益剰余金	45,665	47,426
自己株式	△302	△302
株主資本合計	52,420	54,180
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	224	320
為替換算調整勘定	230	907
退職給付に係る調整累計額	△71	△97
その他の包括利益累計額合計	382	1,129
非支配株主持分	45	53
純資産合計	52,848	55,364
負債純資産合計	72,761	76,322

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
売上高	16,648	21,902
売上原価	8,779	11,637
売上総利益	7,869	10,265
販売費及び一般管理費	4,436	4,788
営業利益	3,432	5,476
営業外収益		
受取利息	107	105
受取配当金	5	7
為替差益	8	106
その他	43	95
営業外収益合計	164	314
営業外費用		
支払利息	19	16
投資有価証券評価損	60	—
固定資産除却損	1	10
訴訟関連費用	19	6
その他	22	11
営業外費用合計	123	45
経常利益	3,473	5,745
税金等調整前中間純利益	3,473	5,745
法人税、住民税及び事業税	1,048	1,713
法人税等調整額	△176	13
法人税等合計	872	1,727
中間純利益	2,600	4,017
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失 (△)	△2	8
親会社株主に帰属する中間純利益	2,603	4,008

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
中間純利益	2,600	4,017
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	67	96
為替換算調整勘定	386	676
退職給付に係る調整額	3	△25
その他の包括利益合計	457	746
中間包括利益	3,058	4,764
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	3,060	4,756
非支配株主に係る中間包括利益	△2	8

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	3,473	5,745
減価償却費	926	930
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△11	△15
受取利息及び受取配当金	△112	△112
支払利息	19	16
投資有価証券評価損益（△は益）	60	—
売上債権の増減額（△は増加）	343	△1,992
棚卸資産の増減額（△は増加）	△435	605
仕入債務の増減額（△は減少）	△286	△235
契約負債の増減額（△は減少）	871	949
その他	△368	196
小計	4,480	6,087
利息及び配当金の受取額	115	109
利息の支払額	△21	△17
法人税等の支払額	△836	△1,336
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,738	4,843
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△281	△443
無形固定資産の取得による支出	△53	△63
投資有価証券の取得による支出	△10	△10
その他	1	13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△343	△502
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△746	△746
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△1,796	△2,246
その他	△39	△38
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,583	△3,032
現金及び現金同等物に係る換算差額	171	279
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	982	1,587
現金及び現金同等物の期首残高	23,578	28,439
現金及び現金同等物の中間期末残高	24,561	30,026

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前中間連結会計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	5,997	3,329	5,266	2,055	16,648	—	16,648
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	5,997	3,329	5,266	2,055	16,648	—	16,648
セグメント間の内部 売上高又は振替高	27	10	5,664	9,142	14,844	△14,844	—
計	6,025	3,339	10,930	11,197	31,493	△14,844	16,648
セグメント利益	976	430	1,354	2,171	4,933	△1,501	3,432

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,501百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,448百万円、セグメント間取引消去△52百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	6,957	3,816	6,382	4,745	21,902	—	21,902
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	6,957	3,816	6,382	4,745	21,902	—	21,902
セグメント間の内部 売上高又は振替高	81	61	6,994	9,982	17,119	△17,119	—
計	7,038	3,878	13,376	14,727	39,021	△17,119	21,902
セグメント利益	1,330	637	2,025	3,049	7,043	△1,567	5,476

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,567百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,607百万円、セグメント間取引消去39百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

受注及び販売の実績

① 受注実績

製品別	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)		当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)		前年同期比	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (%)	受注残高 (%)
ストレッチブロー成形機	11,069	10,680	11,268	10,504	101.8	98.4
金型	5,634	5,952	7,287	6,717	129.3	112.8
付属機器	1,175	1,353	1,374	1,559	116.9	115.2
部品その他	2,712	343	2,976	465	109.7	135.4
合計	20,592	18,330	22,906	19,247	111.2	105.0

セグメント別	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)		当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)		前年同期比	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (%)	受注残高 (%)
米州	6,633	5,346	7,167	5,574	108.0	104.3
欧州	3,724	2,531	4,767	2,944	128.0	116.3
南・西アジア	5,582	4,785	7,097	5,585	127.1	116.7
東アジア	4,651	5,666	3,875	5,142	83.3	90.8
合計	20,592	18,330	22,906	19,247	111.2	105.0

(注) なお受注高の計算に際しては、前期以前に受注した案件のキャンセルは前期末受注残高より控除しております。

② 販売実績

製品別	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)		当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)		前年同期比(%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
ストレッチブロー成形機	7,332	44.1	11,540	52.7	157.4
金型	6,067	36.4	6,222	28.4	102.6
付属機器	703	4.2	1,287	5.9	183.1
部品その他	2,545	15.3	2,851	13.0	112.0
合計	16,648	100.0	21,902	100.0	131.6

セグメント別	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)		当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)		前年同期比(%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
米州	5,997	36.0	6,957	31.8	116.0
欧州	3,329	20.0	3,816	17.4	114.6
南・西アジア	5,266	31.6	6,382	29.1	121.2
東アジア	2,055	12.4	4,745	21.7	230.9
合計	16,648	100.0	21,902	100.0	131.6